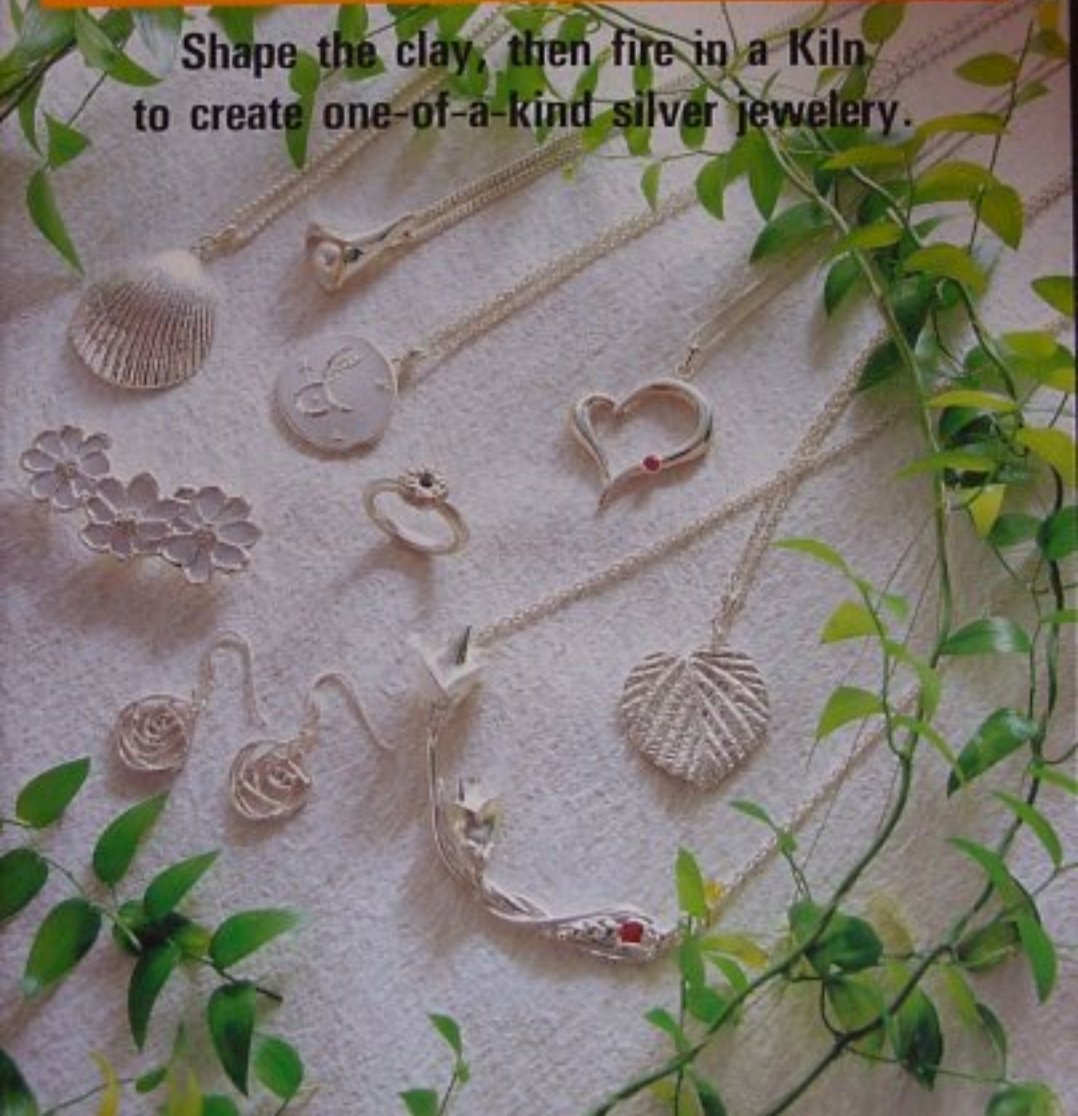


ART CLAY SILVER

Shape the clay, then fire in a Kiln
to create one-of-a-kind silver jewelry.



アートクレイシルバーで作る
純銀製のアクセサリ





アートクレイシルバーって どんなもの?



ペーストタイプを木の葉の裏側に直接塗り重ね、焼成する。

アートクレイシルバーは水性の粘土感覚で自由に造形できる、全く新しい粘土状純銀素材です。純銀微粉末、水、結合剤(バインダー)を成分としています。このため、造形後の乾燥、800°Cの高温での焼成により水とバインダーが消失し、純銀だけが形状を保持して残ります。

アートクレイシルバーには粘土タイプ、ペーストタイプ、油性ペースト、シリンジタイプ、シートタイプがあります。

◆粘土タイプ(粘土状態の純銀量92%)

既成の水性粘土の感覚で造形することができます。水性粘土なので乾燥しやすいという注意が必要ですが、それは反面、早い段階でヤスリなどの切削作業に移れるという長所でもあります。

◆ペーストタイプ(ペースト状態の純銀量80%)

粘土タイプに一定量の水を加えて練り込み、液状にしたものです。使い方としては①粘土タイプの乾燥品どうしの接着、②粘土タイプ

のひび割れなどの修整(パテ埋め)、③粘土タイプの上に模様を描く(盛りつけ)、④葉、折り紙などに直接塗り重ねて焼成し、純銀の拓本、模写作品を造る。

◆油性ペースト

アートクレイ専用のアクセサリパーツやその他の純銀材を焼成後のアートクレイシルバーに取りつける際の接合材として使用します。取りつけは、油性ペーストでアクセサリパーツなどを固定して再度焼成を行い、接合させます。

◆シリンジタイプ(ペースト状態の純銀量スタンダードタイプ87%、より柔らかい模様表現に適したソフトタイプ82.5%があります) 粘土タイプに一定量の水を加えて練り込み、注射器に詰めたものです。注射器から押し出すことで、デリケートな線の模様表現が楽しめます。

◆シートタイプ(縦33mm×横60mm×厚さ0.8mm、シート状態の純銀量91.5%)

粘土タイプをシート状にのばしたものです。粘土タイプを均一に平らにのばし造形を行っていききたい場合に、このシートタイプを利用することでその手間が省けます。

粘土タイプ



アートクレイシルバーが純銀作品になるまで



粘土タイプ

①造形→②乾燥固化→③修整→④完全乾燥固化→⑤焼成→⑥仕上げ→⑦表面処理

①造形

既成の粘土感覚で自由にのぼしたり、丸めたりして造形していきます。粘土状ならではの柔らかい表情を純銀という形で表現できるのが、この素材の特徴です。各タイプを単独で、または併用して造形します。

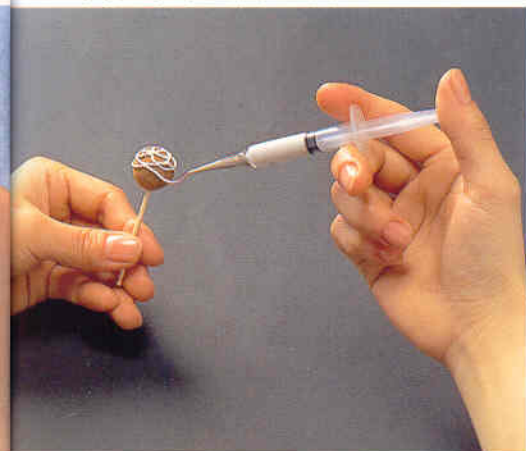
②乾燥固化

ドライヤー乾燥では作品を金網にのせ、ドライヤーの送風口を近づけて作品全体にまんべんなく熱風を当てます。5g程度の作品で約5分、10g程度で約10分当てます。ドライヤー以外にも電気炉(スーパーブチ)の使用や自然乾燥により固化させる方法があります。自然乾燥は1日以上おきます。乾燥後は石膏のような状態になります。

③修整(埋め、削り、追加作業)



シリンジタイプで中子のまわりに透かし模様を描く。



- ・ひび割れなどをペーストタイプで埋める。
- ・ヤスリで形を削り出す、整える。彫刻刀で彫りだす。
- ・乾燥固化したものに粘土状のアートクレイをつけ足す。

④完全乾燥固化

必ず完全に乾燥固化させてから焼成します。乾燥方法は②を参照します。

⑤焼成

電気炉を使います。アートクレイは焼成することで収縮を起こしますが、ほぼ陶器と変わらない収縮で焼き上げることが可能です。その収縮率は長さ10%、面積20%、体積30%です。焼成後、作品は純銀になります。※焼成方法については50ページで紹介しています。

⑥仕上げ

焼成後の表面は銀が結晶化し、梨地肌状白色(柔らかなマット状の肌)です。仕上げで研磨することにより、純銀の金属光沢が生まれます。好みに応じて、ステンレスブラシ、耐水ペーパー、仕上げヘラ、パフなどで研磨を行います。

⑦表面処理(アフターケア)

焼成した作品は純銀ですので、時間が経つと水分や汗、空気中のイオウ分と反応して表面が黒っぽく変色(銀の硫化)してきます。この処理には様々な方法があります。適切な手入れをすることで作られたときの輝きをいつまでも保つことができます。※ケア方法については24ページで紹介しています。

Contents



アートクレイシルバーの紹介 ————— 2

★1 アルファベットのチョーカー ————— 6

★2 木の葉のペンダント ————— 8

★3 バラの透かしピアス ————— 10

★4 切り紙細工調のブローチ ————— 12

★5 オープンハートのペンダント ————— 14

★6 星座のペンダント ————— 16

★7 レーシーなボールピアス ————— 18

★8 ひなぎくのリング ————— 20

★9 天然パールのペンダント ————— 22

★10 純銀の折り鶴 ————— 24

★11 アンティーク調のオーバルピアス ————— 26

★12 つゆ草のリング ————— 28

★13 シェルのペンダント ————— 30

★14 コスモスのブローチ ————— 32

★15 鏡面のサークルペンダント ————— 34

★16 淡水パールのピアス ————— 36

★17 ツイストフラワーのペンダント ————— 38

★18 サンタのペンダント ————— 40

- 本書掲載の写真、イラスト、カット及び記事の無断転載を禁じます。
- 万一、乱丁本、落丁本がありましたら、お取替え致します。
- 印刷物のため、実際の素材とは色調が若干異なる場合があります。



参考作品の紹介	44
道具ガイド	48
焼成ガイド	50
テクニックガイド	52
アートクレイシルバーの扱い	52
アクセサリパーツの取り付け	53
天然石・合成石のつけ方	54
純銀線・花銀・ショット銀の使用法	54
研磨	55
いぶし仕上げ	56
リング制作にあたって	57
アフターケアについて	24

材料・用具・パーツの紹介	58
教室、販売店のご案内	63

監修/平間雅司

(相田化学工業株DAC貴金属事業部)

作品制作/アートクレイ工房

作品協力/庄司典子 杉谷めぐみ 関 善美 時任泰代 水弘弘美
物集女仁子

撮影/永嶋康利(表紙、口絵)、高澤佳久(プロセスP 6~32、P 36、P 40)、鈴木信雄

スタイリスト/古川方子(表紙、口絵) イラスト/高橋美和
レイアウト/早崎公子 編集/エヌ・ヴィ企画

編集担当/飯島亮子

撮影協力/プロップス ナウ ☎03-3473-6210

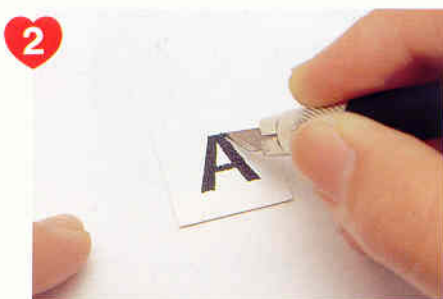
コスモスペース(シムラ・インターナショナル) ☎03-3470-5181

アルファベットのチョーカー

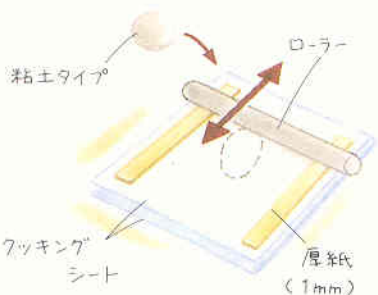
材料◆粘土タイプ4 匁。革ひものチョーカーパーツ1本。
 図案◆42ページ



図案をケント紙、または画用紙に貼る。



カッターでアルファベットを切り抜き、型紙を作る。



手に水を少しつけ、手早く粘土タイプを丸める。指で軽くつぶしてクッキングペーパーにはさみ、厚紙(1mm厚)を利用してローラーを転がして延ばす。均一になるようにローラーは縦、横、斜めに転がす。



延ばした粘土の中央に型紙をのせる。



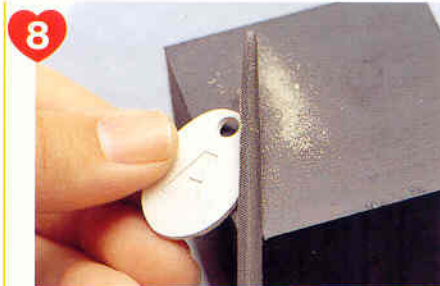
クッキングペーパーをかぶせてローラーを転がし、粘土に型紙を押しつける。ローラーは強めに一度だけ転がすようにする。



粘土が柔らかいうちに、ストローなどで穴を上部から2~3mmを目安にあける。ひび割れなどがあれば、この時点でペースタイプで埋める。



金網にのせてドライヤーの送風口に近づけ、真上から熱風を当て(約5分)、乾燥させる。型紙をはずす。



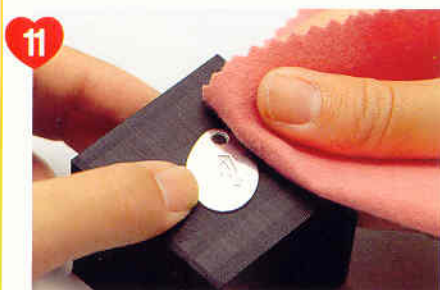
作品の縁を中目ヤスリで軽く削り、整える。
 ※焼成については50ページを参照。



焼成後、ステンレスブラシで全体をブラッシングし、研磨する。



作品の表面、側面に耐水ペーパーを#600→#1200の順に丁寧にかける。



ウィノール(銀磨き)をシルバークロスに少しつけ、表面と側面を磨く。その後、よく空拭きして仕上げる。作品にウィノールが残っていると変色の原因となる。チョーカーパーツを取りつける。

毎日のアルファベットやメッセージを型紙にして、
平らにのばした粘土の上に押しつけました。
漢字や模様でも、アイデア次第。



木の葉のペンダント

材料◆ペーストタイプ7g。合わせバチカン小1個、丸カン中・小各1個、チェーン(アズキ)42cmを1本。葉1枚(葉脈がはっきりし、無毛のものが良い)。



密閉容器にペーストタイプをたっぷり取り出し、水差して水を加える(目分量でペースト2：水1)。固まりを筆でつぶし、なめらかになるまでよく混ぜる。



葉の裏側(葉脈のはっきりした側)にペーストタイプを塗る。茎部分はアクセサリーにした場合、折れやすいので塗らない。



金網にのせ、ドライヤーの送風口に近づけて、真上から熱風を当てる。葉を飛ばさないように気をつけ、乾燥させる。



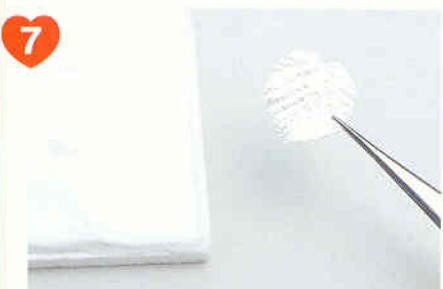
2層めからは厚みをつけるため、盛りつけるように塗る。③④を繰り返して、0.5～1mmの厚さにする。ペーストは葉の裏側だけに塗る。



ドライヤーの熱風を当て(約5分)、完全に乾燥させる。



焼成中に自重で熱変形するのを防ぐため、カオウールボードの上に葉の形状に合わせてカオウールプランケットを敷き、その上に作品を置く。
※焼成については50ページを参照。



焼成すると葉は燃えてなくなり、葉脈を写した作品が残る。



縁より2～3mm内側にピンバイスで穴をあける。



縁にバリができた場合は細目ヤスリで削り取る。



全体にステンレスブラシをかけ、研磨する。



縁は仕上げヘラを使って光沢を出し、仕上げる。ヘラは側面を押し当て、こするよう使う。



合わせバチカン

丸カン小

丸カン中

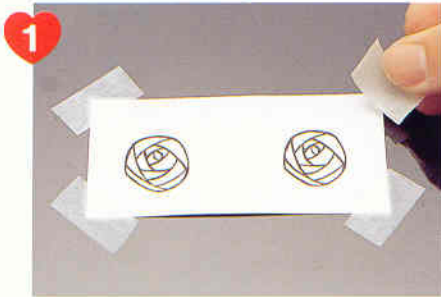
拓本のように葉の葉脈をくっきりと写したペンダント。
緑やウェーブなど自然が削りだす美しい形を
シルバーに留めて、あなたの胸元を飾ります。



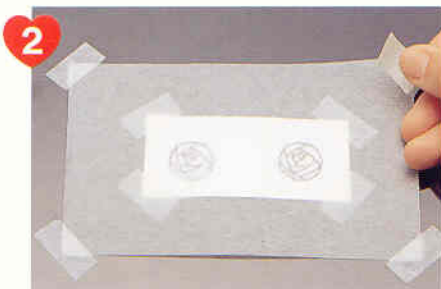
★3

バラの透かしピアス

材料◆シリジタイプ5g、ペーストタイプ1g。ワイヤーピアス1組、丸カン中・小各2個。
 図案◆42ページ



1 図案を下敷きに貼って固定する。



2 図案の上にクッキングペーパーを敷き、テープでとめる。



3 図案にそって、シリジタイプで線を描く。グリーンノズルを使用。(1層め)



4 ③の表面が半乾きになったら線を重ねて二重にし、厚みをもたせる。(2層め)



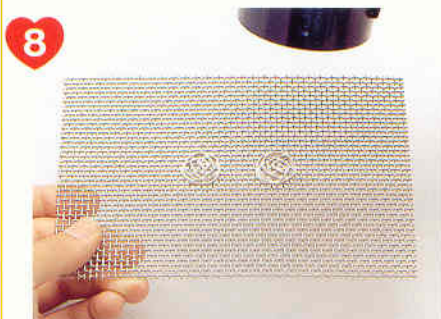
5 クッキングペーパーごと金網にのせ、ドライヤーの送風口を近づけて真上から熱風を当て(2~3分)、乾燥させる。



6 完全に乾燥させたら、クッキングペーパーからはがし、裏側も線を重ねる。(3層め)乾燥させる。



7 重ねた線と線のすき間(側面)をペーストタイプで埋める。



8 ドライヤーで完全に乾燥させる(約5分)。



9 カオウルボードにのせて、焼成する。
 ※焼成については50ページを参照。



10 焼成後、全体にステンレスブラシをかけて研磨する。



11 仕上げヘラを部分的に使い、マットな肌と光沢のある肌との対比をつけ仕上げる。

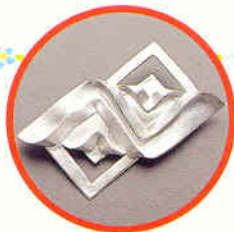
ワイヤーピアスの金具を取りつける。



丸カン小
丸カン中

セミやトンボの羽根のように繊細なラインをシルバーで表現したアクセサリー。
レースーなシルバーアクセサリーは甘さを抑えた、フェミニン路線。



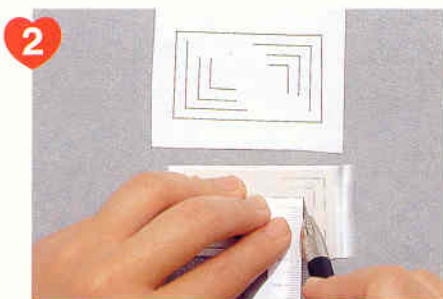


切り紙細工調のブローチ

材料◆シートタイプ10g(1枚)、ペーストタイプ1g。ブローチ金具1組。
 図案◆42ページ



シートタイプを袋から取り出し、カバーシートを片面だけはがす。



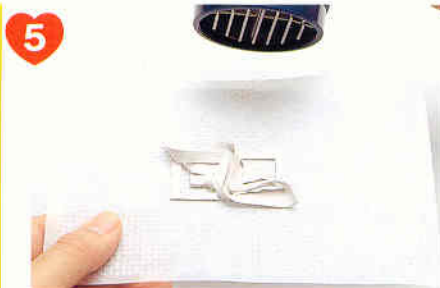
図案を参照してカッターで切り込みを入れる。



表面に薄く水をなじませ、ひびが入りにくくにする。



切り込み線を内側に折り、接着する。



形ができたら、金網にのせ、ドライヤーの送風口を近づけて真上から熱風を当て(約5分)、乾燥させる。



裏のビニールをはがす。



作品の縁を中目ヤスリで軽く削り、形を整える。



裏面にブローチ金具を取りつける。金具は上部(1/3が目安)にピン軸とピン受けが焼成で収縮することを考慮し、ペーストタイプで接着する。

※ブローチ金具の取り付け方は53ページを参照。



再び乾燥させ、焼成する。自重による変形を防ぐため、カオウルボードの上に作品の形に合わせたカオウルブランケットを敷き、金具の面を上にしておく。
 ※焼成については50ページを参照。



焼成後、ステンレスブラシで全体をブラッシングして研磨する。



さらに光沢が欲しい部分は、仕上げヘラを強く押し当ててこすり、仕上げる。



ピン軸にピンのバネ部分を合わせ、ヤットコでピン軸をかしめる。

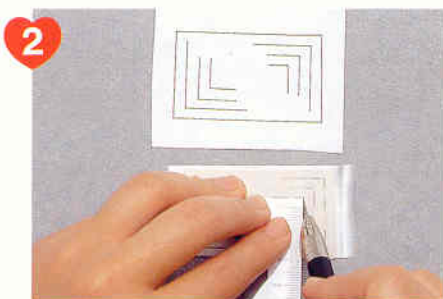


切り紙細工調のブローチ

材料◆シートタイプ10g(1枚)、ペーストタイプ1g。ブローチ金具1組。
 図案◆42ページ



シートタイプを袋から取り出し、カバーシートを片面だけはがす。



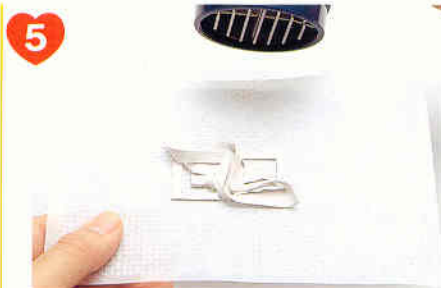
図案を参照してカッターで切り込みを入れる。



表面に薄く水をなじませ、ひびが入りにくくにする。



切り込み線を内側に折り、接着する。



形ができたら、金網にのせ、ドライヤーの送風口を近づけて真上から熱風を当て(約5分)、乾燥させる。



裏のビニールをはがす。



作品の縁を中目ヤスリで軽く削り、形を整える。



裏面にブローチ金具を取りつける。金具は上部(1/3が目安)にピン軸とピン受けが焼成で収縮することを考慮し、ペーストタイプで接着する。

※ブローチ金具の取り付け方は53ページを参照。



再び乾燥させ、焼成する。自重による変形を防ぐため、カオウルボードの上に作品の形に合わせたカオウルブランケットを敷き、金具の面を上にしておく。
 ※焼成については50ページを参照。



焼成後、ステンレスブラシで全体をブラッシングして研磨する。



さらに光沢が欲しい部分は、仕上げヘラを強く押し当ててこすり、仕上げる。



ピン軸にピンのバネ部分を合わせ、ヤットコでピン軸をかしめる。

七夕飾りの色紙のように、銀粘土を切ったり、ひねったりしてブローチを作りました。折り紙などで試作してから、本番のシート粘土で始めましょう。

下に敷いた麻のマルチカバー／ブロッパス、ナウ



★4



★5

オープンハートのペンダント

材料◆粘土タイプ6g、ペーストタイプ1g、シリンジタイプ1g。合成ルビー(ラウンドカット3Φ)1個。差し丸カン1個、合わせバチカン小1個、チェーン(ヴェネチアン)50cmを1本。



1 粘土タイプを2つに分け(1:2)、クッキングペーパーの上で転がして、先を細くしたひも状に伸ばす。残りは乾燥を防ぐため、ラップで密閉しておく。



2 2本とも伸ばしたら、表面に水をつけて指で撫でるようにしてひびをとる。



3 乾燥しないうちに、ハートの形を作る。



4 差し丸カンを粘土が柔らかいうちに差し、目安穴をあける。乾燥固化させた後、ペーストタイプで差し丸カンを接着する。丸カンの足が長い場合は切っておく。



5 クッキングペーパーごと金網にのせ、ドライヤーの送風口を近づけて真上から熱風を当て(約5分)、乾燥させる。



6 細目ヤスリで形を整える。



7 2つのパーツを組み合わせ、ペーストタイプで接着する。



8 合成石を留める所にシリンジタイプを盛りつけ(グリーンノズルで4~5段)、石座を作る。



9 石座を乾燥させた後、合成石をペーストで接着し、乾燥させて焼成する。
※焼成については50ページを参照。



10 焼成後、全体にステンレスブラシをかけて研磨する。



11 さらに光沢が欲しい部分に仕上げヘラを強く押し当ててこすり上げる。



12 差し丸カンに合わせバチカンを取りつけ、チェーンを引き輪が右手にくるように通す。

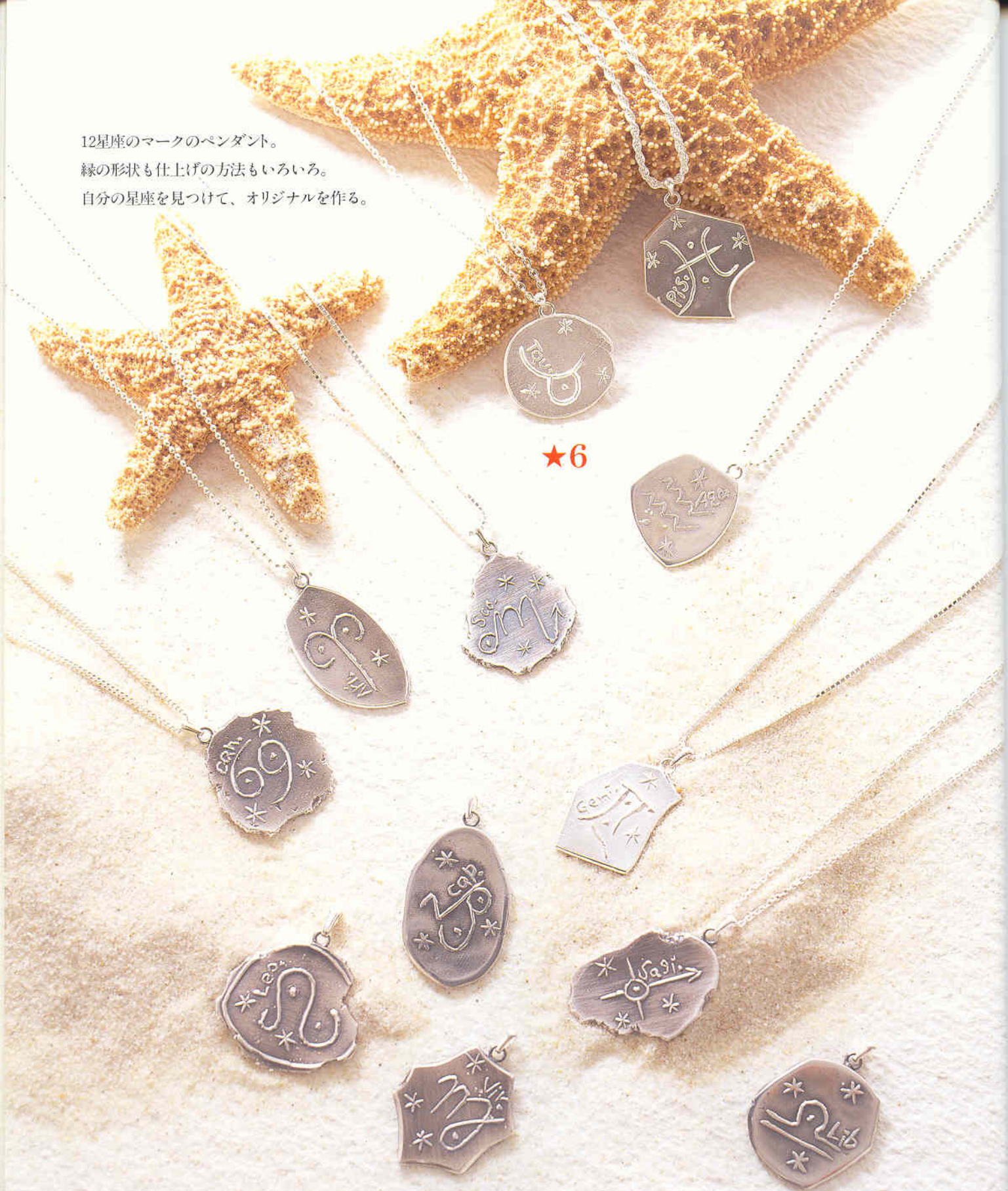




ひも状に伸ばした粘土を組み合わせて
オープンハートを作りました。合成ルビーの
赤い色と大小のハートのカーブがお洒落なペンダント。

12星座のマークのペンダント。
縁の形状も仕上げの方法もいろいろ。
自分の星座を見つけて、オリジナルを作る。

★6

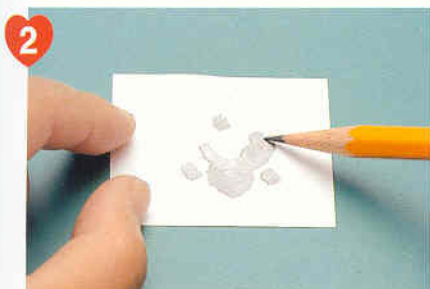


星座のペンダント

材料◆粘土タイプ7 B、ペーストタイプ1 B。差し丸カン、合わせバチカン小各1個。
チェーン(アズキ)42cmを1本。
図案◆43ページ



1 図案をコピーする。図案の線を鉛筆で強くなぞる。



2 図案を裏返してゴム板にのせ、鉛筆でこすりゴム板に転写する。



3 彫刻刀で図案を彫る。シャープな細い模様は三角刀、ふっくらと柔らかな模様は丸刀を使う。



4 ゴム板に粘土タイプを指で押しつけ、1～2mmの厚みになるまで延ばす。



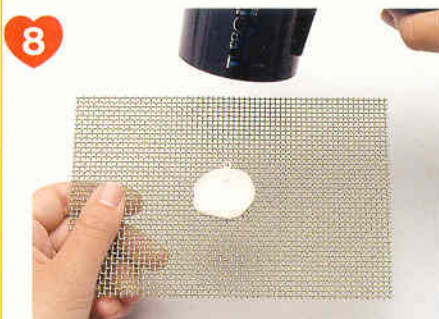
5 ④の状態ドライヤーを当て(約5分)、乾燥させる。



6 ゴム板から粘土をはがし、差し丸カンをつける位置を決める。



7 裏面に差し丸カンをペーストタイプで接着する。



8 金網にのせ、ドライヤーの送風口を近づけて真上から熱風を当て(約3分)、乾燥させる。



9 カオウルボードにのせて焼成する。
※焼成については50ページを参照。



10 焼成後、全体にステンレスブラシをかけて研磨する。



11 凸模様を軽く仕上げヘラでこすり、光沢を出す。

12 差し丸カンに合わせバチカンを取りつけ、チェーンを通す。





スノーボールの花のような球状のピアス。
酸漿や金魚の夏の風物詩も同じ技法で作られた
ペンダントヘッド。涼しげな装いのアクセントとして。

金魚の置き物、小皿／コスモスペース（シムラ・インターナショナル）

★7

レーシーなボールピアス

材料◆シリンジタイプ6g、ペーストタイプ1g。
ワイヤーピアス1組、丸カン中・小各2個。



1 中子粘土を使って球状の中子を作り、楊枝に刺す。



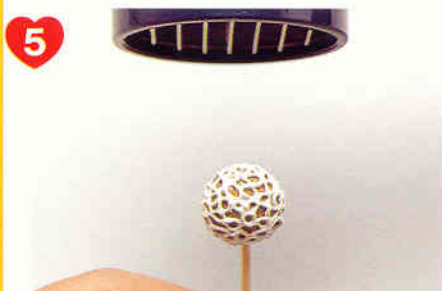
楊枝を回しながら中子の表面にシリンジタイプで模様を描いていく。



3 ドライヤーの熱風を全体に当て(2~3分)、乾燥させる。



4 線のつながっていない部分をペーストタイプで埋め、修整する。



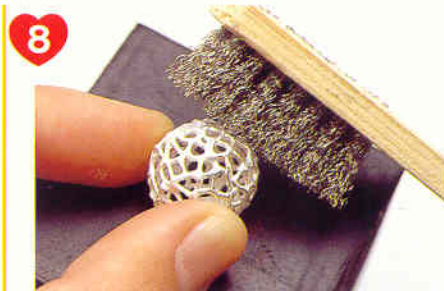
5 再び、ドライヤーで乾燥させる。(約5分)



6 細目ヤスリでシリンジ線のとがりや溜りを削り、表面を整える。同じものをもう一つ作る。



7 焼成中の変形を防ぐため、周りにカオウールブランケットを軽く巻きつける。*焼成については50ページを参照。*焼成中は中子材が燃焼して煙りが出るので、十分に換気を行なう。



8 焼成後、繊細な線に気をつけながら全体をステンレスブラシでブラッシングし、研磨する。



9 さらに光沢が欲しい部分を仕上げヘラで軽くこする。



10 ピアスの金具をつける。

中空品の成型

中子材を使用することで、少量のアートクレイシルバーで軽くボリューム感のある、中空の作品が簡単に作れます。ここでは中子粘土を使用した造形法を紹介していますが、他の紙粘土でも焼成時に燃えつきるものであれば使えます。中には燃えつきないで固形物が残ってしまう紙粘土もありますので、十分に試された上でご使用下さい。



★8



小花のモチーフをトップにあしらったリング。花芯に青い合成石をはめ込み、自然にはない遊び心を。



ムーンストーンの原石/コスモスペース (シムラ・インターナショナル)

ひなぎくのリング

材料◆粘土タイプ7g、ペーストタイプ1g。
合成サファイア(ラウンドカット3Φ)1個。



1 サイズ入り芯金棒の作りたいサイズより3番大きい番号の周りに台紙(2cm×7cm)を巻き、テープでとめる。台紙を芯金棒からはずし、木芯棒につけ替える。



2 粘土タイプをクッキングシートの上で転がし、ときどき、少量の水を含ませながら3mm程度の一定の太さのひも状に伸ばす。



3 伸ばしたら、表面に水を軽くなでつけ、柔らかいうちに木芯棒の台紙に巻いて腕部を作る。



4 重なり合った余分な部分はカッターで切り取る。



5 合わせ目にペーストタイプをたっぷり塗り、全体を完全に乾燥させる。(ドライヤー乾燥で約5分)



6 リングを台紙ごと木芯棒から抜き、台紙をゆっくりとはずす。リングの内側の合わせ目をペーストで埋め、乾燥させる。(ドライヤー乾燥で約1分)



7 接合部やバリを中目ヤスリで削り、整え、さらに耐水ペーパー#600で整える。



8 リングのトップを作る。残りの粘土タイプを丸め、柔らかいうちに合成石を押し当て、石座を作る。



9 柔らかいうちに表面をピンセットでつまみ模様をつける。乾燥固化させた後、ペーストで合成石を接着する。



10 トップをつける接合部分を、中目ヤスリで平らに削る。



11 ペーストタイプをつけて、トップをのせる。



12 リングを木芯棒に通し、ドライヤーの熱風を当て(約1分)、乾燥させる。



13 カオウールボードの上にブランケットを敷いてリングをおき、焼成する。
※焼成については50ページを参照。



14 焼成後の腕部の歪みは、リングを芯金棒に通して木槌で軽く叩いて修整する。叩き過ぎると割れるので注意する。
※サイズ調整は57ページを参照。



15 ステンレスブラシで全体をブラッシングして研磨する。



16 さらに光沢が欲しい部分は、仕上げペラを強く押し当ててこする。

天然パールのペンダント

材料◆粘土タイプB 8g、ペーストタイプ1g。純銀線(径0.8mm)を2cm、裏付けパチカン1個、天然パール片穴(丸玉7mm)1個。チェーン(キヘイ)52cmを1本。

図案◆43ページ



粘土タイプを0.5mmくらいの厚みに伸ばす。



図案を写して型紙を作る。粘土の上に型紙をおき、カッターでカットする。



鉛筆の先など円錐状のものに沿わせて形を作る。



重なる部分をペーストタイプで接着する。



細い方を指でつまみ、形を整えて乾燥させる。



縁を細目ヤスリで整える。



表面を耐水ペーパー#600で整える。



純銀線の先端近くにヤスリ目を入れ、パールを接着する際のひっかかり部分にする。



残りの粘土タイプを小さく丸め、純銀線で目安穴をあけて乾燥固化させる。純銀線にペーストタイプをつけて接着し、乾燥させる。



粘土の頭にペーストタイプを塗って本体の中に入れ、接着して乾燥させる。



裏側上部に裏付けパチカンをつける。本体にペーストをつけてパチカンをおき、接着する。



焼成中の変形を防ぐため、作品の中空部分に軽くブランケットを詰めて焼成する。*焼成については50ページを参照。



焼成後、ステンレスブラシで全体をブラッシングし、研磨する。



表面を耐水ペーパー(#600~#1200の順)で研磨する。



ウィノールを少量つけたシルバークロスで磨く。



ニッパーなどで純銀線を適当な長さに切ってエポキシ樹脂ボンドをつけ、パールを差し込んで接着する。



★9

シルバーにくるまれた天然パールが愛らしいペンダント。
真珠と純銀のシンプルな輝きはジーンズでも、ワンピースでも相性良し。

純銀の折り鶴

材料◆ペーストタイプ 8g。



1 溶き皿にペーストタイプをたっぷり取り出し、水を加え(目分量でペースト2:水1)、なめらかになるまで筆でよく混ぜる。



2 折り鶴(6cm×6cmの紙で折ったもの)の穴に楊枝を差し、ペーストタイプを全体に塗る。(1層め)



3 ドライヤーの熱風を全体に当て(2~3分)、乾燥させる。*完全に乾燥させてから塗り重ねる。



4 2層めからは厚みをつけるため、盛りつけるように塗っていく。折り目や裏面もまんべんなく塗り重ねる。乾燥させる。



5 塗りムラのないように裏側もまんべんなく塗り重ねる。塗り乾燥を交互に4~5回繰り返して0.5~1mmの厚みにし、完全に乾燥させる。(ドライヤー乾燥で約5分)



6 焼成中に羽や首、尾などが自重で熱変形するのを防ぐため、カオウルブランケットを使って支え、焼成する。*焼成については50ページを参照。



7 焼成後、ステンレスブラシで全体をブラッシングし、研磨する。

焼成品のアフターケア

◆変色部分に指先や歯ブラシ、仕上げの工具などが入り、研磨が可能な場合

- A. 重曹に少量の水を加えてペースト状にしたもので変色部分を指先または歯ブラシなどでこすり洗いし、よく水洗いをしてティッシュペーパーで水分を拭き取ります。鏡面仕上げの部分は、この後シルバークロスで磨きます。
- B. 作品全体が鏡面仕上げの場合は、シルバークロスで磨くだけで変色は取り除かれます。
- C. 再度、仕上げをし直します。

◆研磨が入らない複雑な部分の変色を取る場合

- A. 再度焼成を行い、仕上げをし直します。焼成により変色はきれいに取り除かれますが、表面がやや梨地肌に戻るため仕上げをし直す必要があります。
- B. シルバークリーン(洗浄液)につけ、変色を取り除きます。ただし、いぼし仕上げの作品には使わないで下さい。

◆前記の方法が取りづらい場合(額に収めて固定するレリーフなど)

- あらかじめ、合成樹脂塗料〈透明〉スプレー(トアインクラックなど)をスプレーしてコーティングを行なっておくと、表面に薄い樹脂膜ができて外気から遮断されるので変色しません。
- *市販されているシルバーのケア製品については、各種ありますので用途に合わせて使用して下さい。

最初に覚える折り紙といえば鶴ではないでしょうか。その折り鶴を純銀にして置物やイヤリングにした、別の楽しみ方です。

★10



アンティーク調のオーバルピアス

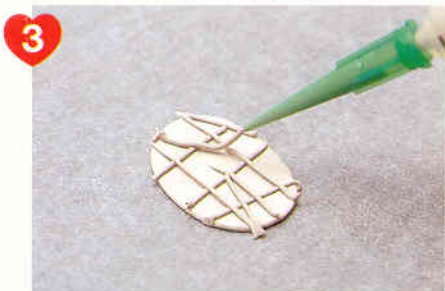
材料◆粘土タイプ6g、シリンジタイプ3g。ホールピアス1組、丸カン中・小各2個。
 図案◆43ページ



1 手に水を少しつけ、素早く粘土タイプ3gを丸める。



2 丸めた粘土を指で軽くつぶしてクッキングシートにはさむ。両側に1mm厚の厚紙をおき、ローラーを転がして均一な厚みの楕円形に延ばす。乾燥させる。



3 図案を参照して、シリンジタイプで縦、横、斜めに線を引く。グリーンノズルを使用。



4 線が半乾きのときに指で軽く押さえる。乾燥させ、裏面にも同様の模様をつける。



5 よく乾燥させてから、縁を中目ヤスリで削り、形を整える。同じものをもう一つ作る。焼成する。
 ※焼成については50ページを参照。



6 焼成後、ピンバイスで丸カンを通す穴を上部から2~3mmの所にあける。



7 全体をステンレスブラシでブラッシングする。さらに、凸部と縁を耐水ペーパー(#600→#1200の順)で磨く。
 ※平らな面をヤスリがけする場合はペーパーの上に作品をおき、作品を一定方向にスライドさせる。



8 水で濡らして重曹で磨いた後、よくすすぎ洗いをし、表面の脱脂を行なう。



9 いぶし液に入れ、いぶし仕上げの着色をする。
 ※いぶし仕上げの方法については56ページを参照。



10 均一に青黒く変色したら、いぶし液から取り出す。



11 シルバークロスにウィノールをつけて凸部を磨く。その後、全体を空拭きする。



12 ピアスの金具をつける。

アンティーク調の落ち着いた雰囲気が一味違うピアス。
凹凸のあるデザインが、いぶし仕上げには
似合います。ラフなスタイルに。



★11

本物の肌、小枝、7面、ブタ、ナツ

つゆが草の葉の上についている光景が目につくような
平打ちのリング。サイズの見積もりは難しいけれど、ぜひ挑戦して。



★12



つゆ草のリング

材料◆粘土タイプ7g、ペーストタイプ1g、シリンジタイプ3g。

図案◆43ページ



サイズ入り芯金棒に台紙を巻きつける。作りたいサイズより4番大きい番号の周りに巻き、テープでとめる。(※10を作りたい場合は#14の周りに巻く) 芯金棒から台紙を抜き、木芯棒につけ替える。



粘土タイプ約7gを俵状にしてクッキングシートにはさむ。両側に1mm厚の厚紙をおいてローラーを転がし、帯状に均一に延ばす。



延ばした粘土の上に図案を写した型紙をのせ、カッターでカットする。残った粘土はラップに包んで密閉しておく。



表面に水を軽くなでつけ、柔らかいうちに木芯棒の台紙中央に巻きつける。



重なり合う余分はカッターで切り取る。



合わせ目にペーストタイプをたっぷり塗る。



ドライヤーの熱風を全体に当て(約5分)、完全に乾燥させる。



リングを台紙ごと木芯棒から抜き、台紙をリングからゆっくりとはがす。内側の合わせ目をペーストで埋め、乾燥させる。



合わせ目を中目ヤスリで削り、整える。



リング表面にシリンジタイプで模様をつける。グリーンノズルを使用。



粘土タイプを丸めて1~2mmの粒を5、6個作る。



粒をペーストタイプでリングにつける。乾燥させる。



カオウルボードの上にカオウルブランケットを敷き、その上に乗せて焼成する。

※焼成については50ページを参照。



焼成後、全体をステンレスブラシでブラッシングする。



凸部は仕上げヘラを使って光沢を出す。

※乾燥時の修整の際、リングの内側を削り過ぎるとサイズが大きくなってしまいますので気をつけましょう。

※リングの腕の歪み、サイズ調整は57ページを参照して下さい。

砂浜で拾った貝からを使って型をとったペンダント。
貝がらをそと取っておくのも思い出になるけど
シルバーに形を変えて、アクセサリーとして
手元におくのも記念になるのでは…。



シェルのペンダント

材料◆粘土タイプ10g。合わせバチカン小1個、丸カン中・小各1個、チェーン(ボール)40cmを1本。貝から。



紙コップを4cmの高さにカットする。中にデシコン主材35gと硬化剤35滴を入れ、均一な色になるまで気泡が入らないようによく練り混ぜる。
※デシコン主材と硬化剤の混ぜ合わせが不充分だと、硬化しない所ができてしまうので、ムラのないように混ぜる。



①に型取りする原型(貝)を押しつけ、硬化を待つ。(約60分)押し込み過ぎるとはずれなくなるので、原型は縁より深く押し入れない。



完全に硬化してから、ゆっくりと原型をはずし、紙コップも取る。
※デシコンが完全に硬化しないうちは原型は取りはずさない。

粘土は2mmぐらいの厚さに均一に延ばしておく。型の中央から外側へ押し出すように粘土を詰めていく。(中子粘土をラップで包んだもので押し込むとやり易い)



型からはみ出した粘土はカッターでカットする。



⑤のまま、ドライヤーの熱風を当て(約5分)、完全に乾燥させる。



型からはずす。



縁の凸凹を中目ヤスリで削って形を整える。



焼成中の自重による熱変形を防ぐため、カオウルブランケットを形状に合わせて敷いて作品をのせ、焼成する。
※焼成については50ページを参照。



焼成後、縁から2~3mm内側にピンバイスで穴をあける。作品にカーブがついているので内側からあける。



全体をステンレスブラシで研磨する。



凸部を耐水ペーパー(#600→#1200の順)で研磨する。



ウィノールをつけたシルバークロスで磨き、その後空拭きして仕上げる。

穴に金具を取りつけ、チェーンを通す。



型取り・型抜き

- ・シリコンゴムで型取りした凹型にアートクレイシルバーの粘土タイプを型込めすることで量産も可能です。
- ・抜き型などを利用して、簡単にプレス製品を制作することができます。(簡易なものでは菓子作りの抜き型など)

コスモスのブローチ

材料◆粘土タイプ10g、ペーストタイプ2g。ブローチ金具1組。
図案◆43ページ



粘土タイプを1mm厚に延ばす。



①の上に図案を写した型紙をのせ、カッターでカットする。



ドライヤーの熱風を当て(2~3分)、完全に乾燥させる。



図案を見ながら、表面に鉛筆で下描きをする。



下絵にそって、花びらの縁に盛りつけるようにペーストタイプを細筆で塗る。



乾燥させる(約1分)。塗り乾燥を繰り返し線に立体感をつける。



花の中央に少量の粘土タイプをつけ、表面をピンセットでつまんで花芯を作る。乾燥させる。



縁に中目ヤスリをかけて整える。



作品の天地を確認し、裏面にブローチ金具をつける。上部から $\frac{1}{3}$ の所にピン受けとピン軸が平行になるように位置を決め、ペーストタイプで接着し乾燥させる。※ブローチ金具の取り付け方は53ページを参照。



焼成中の熱変形を防ぐため、カオウールボードの上にカオウールブランケットを敷き、金具をつけた面を上にしておき、焼成する。



焼成後、全体にステンレスブラシをかけて研磨し、凸部には仕上げヘラを使ってさらに光沢を出す。



ピン軸にピンのバネ部分を合わせ、ヤットコでピン軸をかきつけて固定する。

ドローイング法の柔らかな線画は
不揃いなところがナチュラルな感じ。
コスモスの花も一輪ごとに動きがあって素敵。



鏡面のサークルペンダント

材料◆粘土タイプ10g、シリジタイプ(ソフト)2g、ペーストタイプ1g。
 合わせパチカン小1個、差し丸カン1個、ツキサシ2を1個、花銀(中目)5g、天然石片穴
 (丸玉5mm)1個、純銀線(径1mm)を1cm、チェーン(アズキ)50cmを1本。 図案◆43ページ



1 中子粘土で直径3cm、中心の高さ1cmの半球を作り、完全に乾燥させる。



2 ひも状に伸ばした粘土タイプを中子の周りに巻きつける。



3 余分の重なり分はカッターでカットし、合わせ目をペーストタイプで接着する。



4 純銀線を長さ8mmにカットし、ヤットコでU字に曲げる。



5 ④と差し丸カンを③が柔らかいうちに差し、目安穴をあける。乾燥固化させた後、ペーストタイプで接着し、乾燥させる。



6 ローラーで延ばした粘土タイプを⑤の½にかぶせる。縁の粘土にペーストを塗り、接着する。余分はカットする。



7 もう1枚かぶせて接着する。乾燥後、縁は細目ヤスリをかけて整える。



8 ⑦の表面にペーストを塗り、花銀をふりかけて、固定させる。※ふりかけ過ぎた所は逆さにして落とす。



9 粘土で丸い粒(大3mm・小2mm)を作り、ペーストタイプでつける。乾燥させる。



10 シリジタイプで円を描いていく。グリーンズルを使用。



11 完全に乾燥させる(ドライヤー乾燥で約5分)。焼成する。
 ※焼成については50ページを参照。



12 焼成後、全体にステンレスブラシをかける。



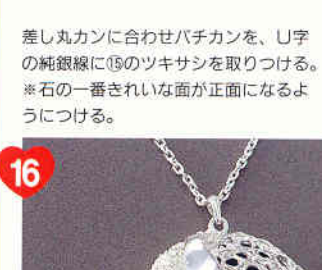
13 中央の面を耐水ペーパー(#600→#1200の順)で研磨し、ウィノールで磨き鏡面を出す。



14 部分的に仕上げヘラで光沢を出し、仕上げる。



15 天然石(ヘマタイト)の穴の深さに合わせて、ツキサシをニッパーでカットする。ツキサシにエポキシ樹脂ボンドをつけ、石の穴に差し込む。



16 差し丸カンに合わせパチカンを、U字の純銀線に⑬のツキサシを取りつける。
 ※石の一番きれいな面が正面になるようにつける。



★15



サークルの下で揺れる天然石が色をそえるペンダント。鏡面や大小の網目、花銀や玉と色々なシルバーの見本市のようです。

淡水パールのピアス

材料◆シリンジタイプ(ソフト)7号、ベースタイプ1号。ワイヤーピアス1組、丸カン中・小各2個、ツキサシ1を2個、純銀線(径1mm)15cmを2本、淡水パール2個。



1



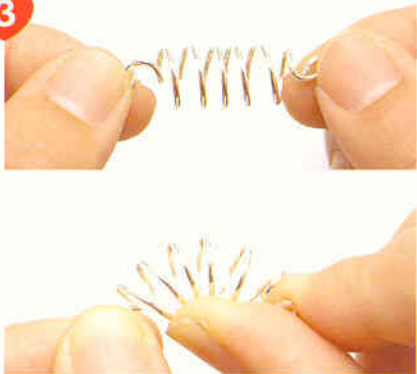
純銀線の端1cmを指でしっかりと押さえ、芯になる硬い棒(直径4mm程度)にさつく巻きつける。

2



芯から純銀線を抜き、両端1cmをすき間のないようにヤットコで丸め、丸カンを通す輪を作る。

3



両端をひっぱり、コイルの幅が均一になるように伸ばす。全体を軽く曲げる。

4



コイルを渡るようにシリンジタイプで線を作る。グリーンノズルを使用。

5



線は3本ぐらい重ね、強度を持たせる。

6



乾燥後、線と線の接点やすき間をベースタイプで埋める。

7



ドライヤーの熱風を当て(2~3分)、完全に乾燥させる。もう一つ同じものを作る。

8



焼成中の自重による熱変形を防ぐため、カオウルブランケットを敷いて作品をのせ、焼成する。
※焼成については50ページを参照。

9



焼成後、全体にステンレスブラシをかけて研磨する。さらに、仕上げヘラを押し当ててこすり、シリンジ線に光沢を出す。

10



パールの穴の深さに合わせて、ツキサシをカットする。端にエポキシ樹脂ボンドをつけ、パールに差し込む。

11



⑩を本体の輪に取り付ける。

ピアス金具を取り付ける。

12



淡水パールと華奢な銀細工とのコンビは
カジュアルでも清楚なお洒落でもOK!



★16

ツイストフラワーのペンダント

材料◆粘土タイプ10g、シリンジタイプ(ソフト)1g、ペーストタイプ1g、差し丸カン2個、丸カン中2個、ショット銀5g、合成ルビー(スクウェアカット4×4mm)1個、チェーン(アスキ)50cmを1本。



1 粘土タイプで花の中子を2個作り、完全に乾燥させる。



2 粘土タイプを0.5mm厚に延ばし、花びらを作る。3枚で1個の中子を包み、花を作る。乾燥させる。



3 ひも状に伸ばした粘土3本を組み合わせて茎を作り、乾燥させる。



4 花の下部に少量の粘土タイプをつけ、カッターで模様をつけて乾燥させる。



5 花と茎を柔らかい粘土タイプ少量で接着する。乾燥させる。



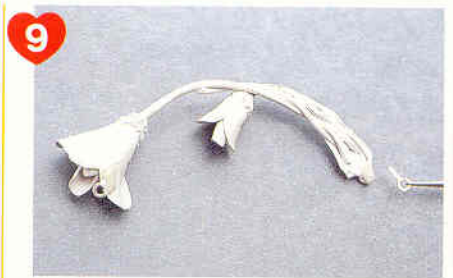
6 茎にシリンジタイプ(グリーンズル)を数本重ね、飾りをつけ、乾燥させる。



7 シリンジタイプ(グリーンズル)で石座を作り、合成石とショット銀を押し当て乾燥させ、安定した所にペーストタイプで接着する。※54～55ページを参照。



8 粘土を小さく丸め、茎の端にペーストでつけて全体のバランスをよくする。乾燥させる。



9 裏側の両端に差し丸カンをつける。ペーストタイプで接着する。乾燥後、焼成する。
※焼成については50ページを参照。



10 焼成後、全体にステンレスブラシを軽くかけて研磨する。



11 部分的に仕上げヘラを使い、光沢を出す。

チェーンの中央をニッパーでカットする。チェーンと作品の両端の差し丸カンを、それぞれ丸カンでつなぐ。





ヘッドの両サイドに鎖がついているペンダント。大きめヘッドは合成石を入れたり、テクスチャーに凝ったり思いのまま。

サンタのペンダント

材料◆粘土タイプ6g、シリンジタイプ1g、ペストタイプ1g。差し丸カン1個、合わせバチカン小1個、チェーン(アズキ)42cmを1本。
 図案◆43ページ



粘土タイプを1mm厚に延ばす。



①の上に図案を写して作った型紙をのせ、カッターでカットする。乾燥させる。



図案を見ながら、表面に鉛筆で下絵を描く。



目の部分にピンバイスで穴をあける。



下絵にそって、ヒゲ以外にシリンジタイプ(グリーンノズル)で線を描く。



ブルーノズルに替え、ヒゲを描く。



ドライヤーの熱風を当て(2~3分)、乾燥させる。



縁に中目ヤスリをかけて、形を整える。



差し丸カンを裏面にペストタイプで接着する。乾燥後、焼成する。*焼成については50ページを参照。



焼成後、全体にステンレスブラシをかけて研磨する。



さらに、凸部は仕上げヘラでこすり、光沢を出す。

差し丸カンに合わせバチカンを取りつけ、チェーンを通す。



クリスマスに欠かせないサンタクロースやツリー。
期間限定のアクセサリーって贅沢な感じ！



★18



サンタの置き物/ブロップス ナフ

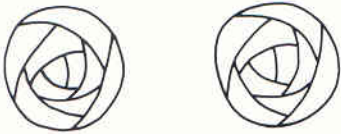
図案

コピーをして、必要な場合はケント紙などに貼って使用して下さい。

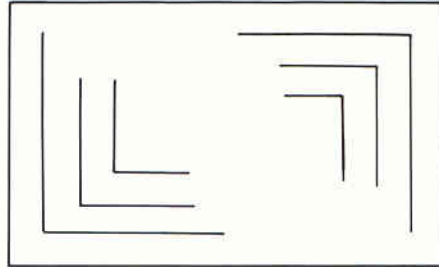
★1

A B C D E F G H I
J K L M N O P Q R
S T U V W X Y Z

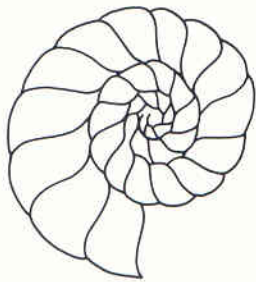
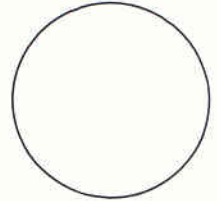
★3



★4



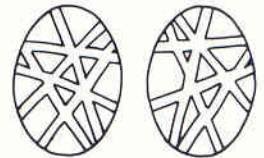
★9



★12

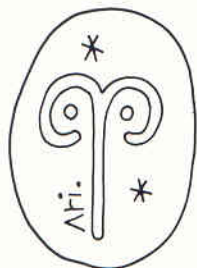


★11

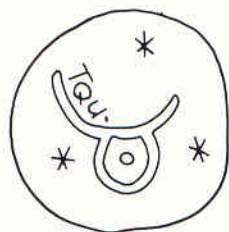


★6

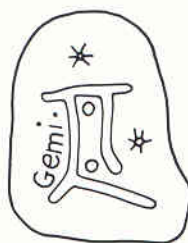
牡羊座



牡牛座



双子座



蟹座



獅子座



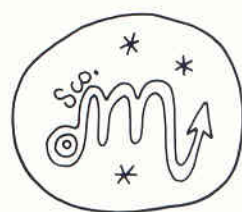
乙女座



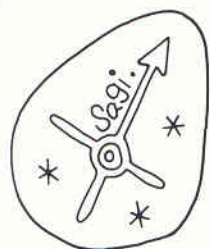
天秤座



蠍座



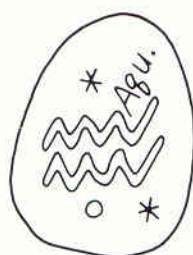
射手座



山羊座



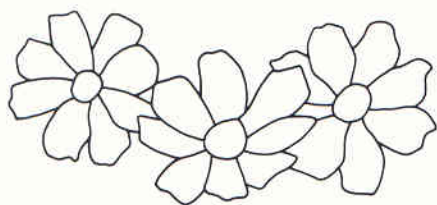
水瓶座



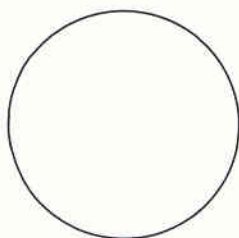
魚座



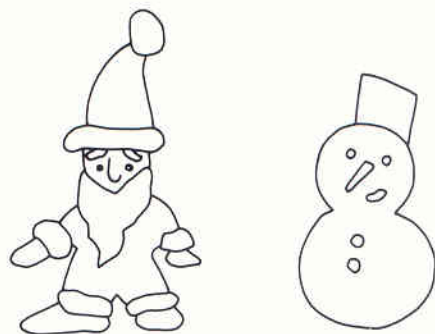
★14



★15



★18



参考
作品



好美閑子

松本 礼

阿部智栄美



岩橋邦明

戸田祥子

木本允子



山口和子



安達冨美子



木曾淑枝





ニール英子

澤田淳子

中村久美



横山美佐子

知野さと子

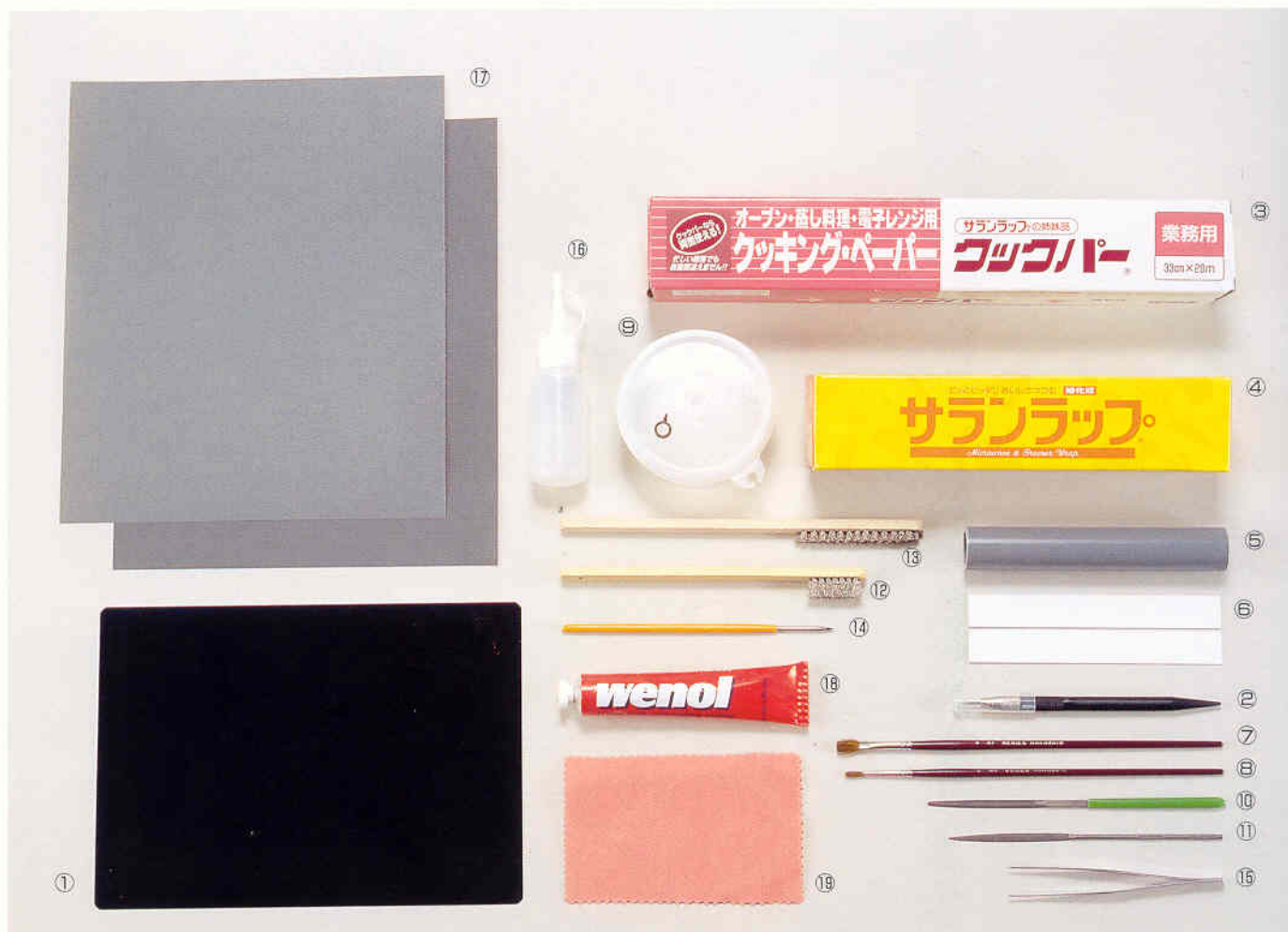


工芸家 上枝敏秀



アートクレイシルバーに押し花をあしらった作品

道具ガイド



①下敷き

造形時に、クッキングシートをテープで固定して作業台として使う。

②カッター

粘土タイプが柔らかいうちのカットに使う。

③クッキングシート

粘土タイプの剝離性が良いので、この上で作業する。

④サララップ

粘土タイプの練り込みや保管時に使う。二重、三重にして包むと保湿性が良い。

⑤ローラー

クッキングシートにはさんだ粘土タイプをのばす。

⑥厚紙2枚(1mm厚)

ローラーの両サイドにおいてその上を転がし、粘土が均一にのびるようにする。

⑦筆(平)

ペーストタイプを葉などに塗るときに使う。広い面を塗るときに便利。

⑧筆(細)

ペーストタイプで細かい模様を描いたり、小さなパーツを接着するときに使う。

⑨プラスチックケース

ペーストタイプを取り出して水で溶くときに使う。密閉できるので、乾燥を防いで保管もできる。

⑩ヤスリ(中目)

乾燥させた粘土の整形、削り込みに使う。

⑪ヤスリ(細目)

焼成後の形の微調整、バリ取りなどに使う。

⑫ステンレスブラシ(毛足長)

焼成後、柔らかい銀肌を出すのに使う。

⑬ステンレスブラシ(毛足短)

細かいデリケートな部分や、リングの内側のブラッシングに使う。

⑭仕上げヘラ(小)

焼成後に表面を軽くしごいて、鏡面肌を出すのに使う。

⑮ピンセット

小さいパーツ類や金具、合成石などはさむ。

⑯水差し

アートクレイに水を加えるときに、少量ずつ出すことができ便利。

⑰耐水ペーパー(#600・#1200)

最終的な仕上げの前の作業で、番数を上げていき、鏡面を出しやすくする。

⑱ウィノール

最終仕上げ(鏡面仕上げ)のときに布に少量つけて磨く。

⑲シルバークロス

出来上がった作品が、ある期間の中で部分的に変色したときに磨く。



①粘土ヘラ

造形時に使う。プラスチック製と細かんながある。

②ステンレス網

乾燥させるときに、作品をのせる。

③ヤットコ

イヤリング金具やピアス金具をつけるときに使う。

④サイズ入り芯金棒

リングを制作するとき、制作時のサイズをはかる。また、リングの調整の際に使う。

⑤木芯棒

リングを制作するとき、安定した作業を行なうために芯棒として使う。

⑥木槌

芯金棒に焼成後のリングを通し軽く叩いて、歪みやサイズを調整する。

⑦ピンバイス

ドリル刃をはさむ。

⑧ドリル刃(1.3mm)

出来上がった作品に穴をあける。作品の大きさや金具に合わせて刃の太きを選ぶ。

⑨パー〇ハップ

ムトウハップ入浴剤。いぶし仕上げをするときに使う。

⑩重曹

いぶし仕上げの研磨に使う。

⑪ゴム台

乾燥状態でのヤスリがけや焼成後のヘラかけの際に、台として使うと安定した作業ができる。

⑫中子粘土

中子材として使う。

⑬ライトクレイ(油土)

ゴム版転写の際、ゴム版の模様を彫り具合を確認するために試し押しをしたり、アートクレイの制作前のモデリングの練習として使う。

⑭ゴム版

模様を彫って粘土タイプを押しつけ、模様を転写する技法の転写材として使う。

⑮彫刻刀

ゴム版を彫る。乾燥状態の切削作業に使う。

⑯ボンド(エポキシ系接着剤)

作品にパール玉や接着金具をつけるときに使う。速乾性のものが便利。

⑰デシコン(シリコーン型取り材)

型取り成形の際に使う。型取り用のシリコーンゴム。

焼成ガイド

電気炉(スーパープチ)での焼成

①カオワールボードの上に作品をのせ電気炉に入れる。作品は完全に乾燥固化させてから焼成を行う。

②電源コードのプラグをコンセントにしっかりと差し込み、メインスイッチをONにし、ヒートレートスイッチをHI〈ハイレンジ〉に入れる。

③デジタル温度調節計を800℃に設定する。SETボタンを押し、▲または▼を押してデジタル表示の数字を800℃に合わせる。温度設定が終わったら、再度、SETボタンを押す。

※設定温度を変える場合には、この操作を再度行う。

④800℃になってから30分間温度を保持させ、焼成する。焼成後、作品は純銀になる。

⑤ヒートレートスイッチをOFFにし、デジタル表示が600℃以下になってから、作品をのせたカオワールボードを専用ピンセットを使って取り出す。取り出したら、断熱材(耐熱レンガ、石膏ボード、カオワールボード大など)の上において冷ます。

※研磨の作業は作品が十分に冷めてから行う。

※電気炉は使用後、メインスイッチをOFFにする。



①



②



③



④



⑤



例A



例B



※電気炉を使用して作品を乾燥固化させることができます。700~800℃に昇温させた電気炉の炉体外上部に金網をおいて、その上に作品をのせ、30分程度乾燥させる。



①



②



③



④

アートボックスNo. 1での焼成

アートボックスは電子レンジのマイクロ波により、内部の温度が上昇する簡易な器です。

- ①アートボックスNo.1にファイバーペーパーを敷き、作品をおく。
 - ②アートボックスを電子レンジの中央におき、加熱を始める。蓋にあいた穴を見て、内部がオレンジ色になるまで、約8～12分が目安。
 - ③オレンジ色が見えたら、いったんタイマーを切る。すぐに、焼成時間（表参照）をセットし、加熱を続ける。
 - ④タイマーが切れたら、すぐにレンジからアートボックスを取り出す。熱いので手袋などを着用する。取り出したら、断熱材（耐熱レンガ、石膏ボード、カオウールボード大など）の上のせて冷ます。
- ※アートボックスでの焼成はあくまでも簡易的なものです。肉厚な物、より大きな物、可燃物を中子や支持体として造形した作品の焼成は、安定した加

熱条件が必要になりますので、温度コントロール可能な電気炉（スーパープチ）を使用してください。また、アートクレイゴールド/K22の焼成には使用しないで下さい。

※アートボックスNo.1を使い焼成を行なう場合には、必ずアートボックスNo.1に添付されている「アートクレイシルバー」の電子レンジによる焼成方法をよく読んでから行って下さい。

アートボックスNo.1での焼成時間の目安	
～3gまでの小物	2～3分
3～30g程度の物	3～4分
細長い物、肉薄な物	2～3分

焼成時のカオウールブランケットの使い方

立体的な作品を焼成する場合には、作品をカオウールブランケットで支え、焼成中の自重による熱変形を防ぎます。

例A. 純銀の折り鶴の場合

カオウールボードの上にカオウールブランケットを敷いて、作品をおき、変形しそうな羽、首、尾の部分をカオウールブランケットで支える。

例B. 透かしの中空品の場合

カオウールボードの上にカオウールブランケットを敷いて、作品をおき、作

品のまわりにカオウールブランケットを軽く巻きつけて、形状を支える。

※カオウールはセラミックファイバー製品。アスベストは含まれていません。

※スーパープチはデジタル式自動温度調節計つきで、温度保持に便利な家庭用小型電気炉です。

※アートクレイゴールド/K22の焼成は、焼成温度990℃、60分間保持で行って下さい。

※スーパープチは50Hz・60Hz共用、日本全国で使えます。電源はAC100Vの一般家庭用コンセントを使用できます。

アートクレイシルバーの扱い

◆粘土タイプの乾燥と保管

- ・開封したら必要な分だけ取り出し、残りはすぐに3枚に重ねたラップに包んでおく。作業中に出た粘土くずについても同じ。
- ・作業中は適量の水を補給していく。水をつけ過ぎたときは、しばらく置いておく。
- ・粘土が乾燥してしまって思うように作業ができなくなったときは、乾燥した粘土を少量の水と一緒に3枚に重ねたラップで包み、よく練り込む。粘土が完全に乾燥してしまった場合は同じようにラップで包み、しばらく寝かしてラップの上からローラーなどで塊をつぶし練り込んでいくことで、元の粘土状態に戻すことができる。
- ・保管は粘土に含まれている水分が蒸発して硬くなってしまわないように、3枚に重ねたラップでしっかり包み、密閉容器に入れる。

◆ペーストタイプの溶き方

- ・水で溶いて使う。溶き皿にペーストタイプを適量取り、通常は目分量でペースト2：水1の割合で水を加え、粒がなくなるまで筆で混ぜ合わせる。
- ・油性ペーストは通常薄めずに使う。油性ペーストが固くなり作業がしづらい場合は、専用の薄め液を用いて元のペースト状に戻す。

◆シリンジタイプの出し方

- ・ノズルの先端を少し浮かせながら、線を引いていく。



シリンジタイプの出し方



テクスチャー

アートクレイシルバーの場合、ロストワックス法のように熱で溶ける性質を利用したテクスチャー表現には不可能な、粘土そのものの柔らかさを利用したテクスチャー、例えばそのまま自然にあるものや既製品を押し当てたり、道具でひっかいたりした様々な面白い表現が得られます。

- ・レースやひも、紙やアルミ箔を丸めて押しつける。
- ・革細工用のタガネや英文字、和文字、数字などのゴム印を押す。
- ・歯ブラシなどでたたいて、模様をつける。



粘土ヘラなどでテクスチャーをつける。



歯ブラシを押し当てテクスチャーをつける。



ゴム印などで文字をつける。

アクセサリーパーツの取り付け

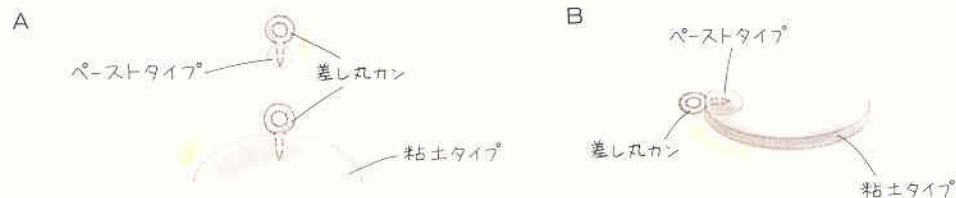
差し丸カン、裏付けバチカン、ブローチ金具はアートクレイシルバーでペンダントやブローチなどを制作する際に、従来のロー付けをすることなく取り付けることができる、アートクレイシルバー専用のシルバー製アクセサリーパーツです。

◆差し丸カンの取り付け方

A. 粘土タイプが柔らかいうちに目安穴をあけるか、乾燥固化した作品にピンバイスなどで穴をあける。差し丸カンにペストタイプをつけ、穴に差しつけて接着する。

B. 乾燥固化した作品の裏側に、差し丸カンの足部分をペストタイプで接着する。差し丸カンは表裏があり、丸みを帯びている面が表になる。

※焼成後の取り付けは油性ペストで差し丸カンを固定した後、再度焼成を行い接合させる。

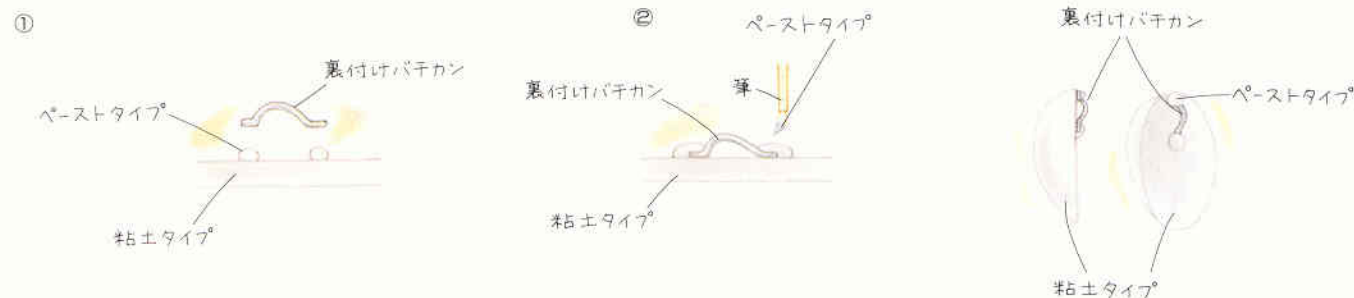


◆裏付けバチカンの取り付け方

①乾燥固化した作品の裏側上部にペストタイプを塗り、裏付けバチカンをおく。

※チェーンを通したときに作品がおじぎをしないように、できるだけ上の位置に取りつける。

※焼成後の取り付けは、油性ペストで裏付けバチカンを固定した後、再度焼成を行い接合する。

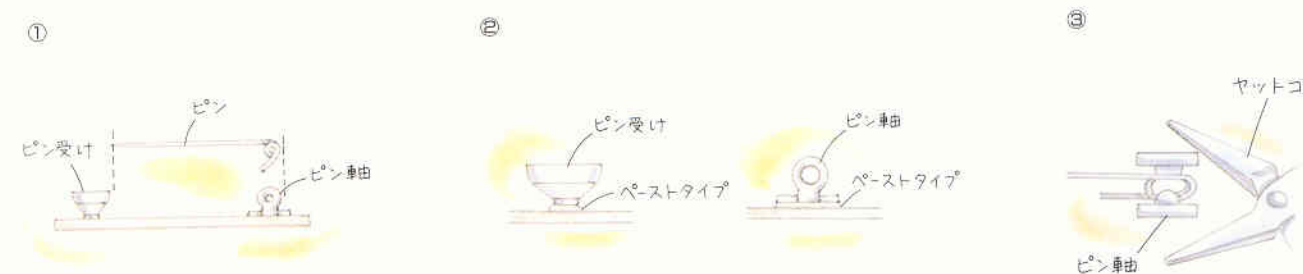


◆ブローチ金具の取り付け方

①作品が乾燥固化状態でブローチ金具をつける場合は、ピン受けとピン軸が焼成後の収縮状態でピンの先がぴったりピン受けに留まるように、図のような位置に配置する。焼成後に油性ペストで取り付ける場合は収縮を考慮する必要はない。

②乾燥固化した作品の裏側に、ピン受けとピン軸の留め部分をペストタイプで接着し、固定する。身につけたときに作品がおじぎしないように、ブローチ金具は作品の上部から居くらの所に取りつける。

③焼成、仕上げ後、ピン軸にピンのバネ部分を入れ、ヤットコでかしめる。



天然石・合成石のつけ方

◆パールなどの片穴の天然石を取りつける

①純銀線（パールの場合は太さ0.8mm）を立てる。

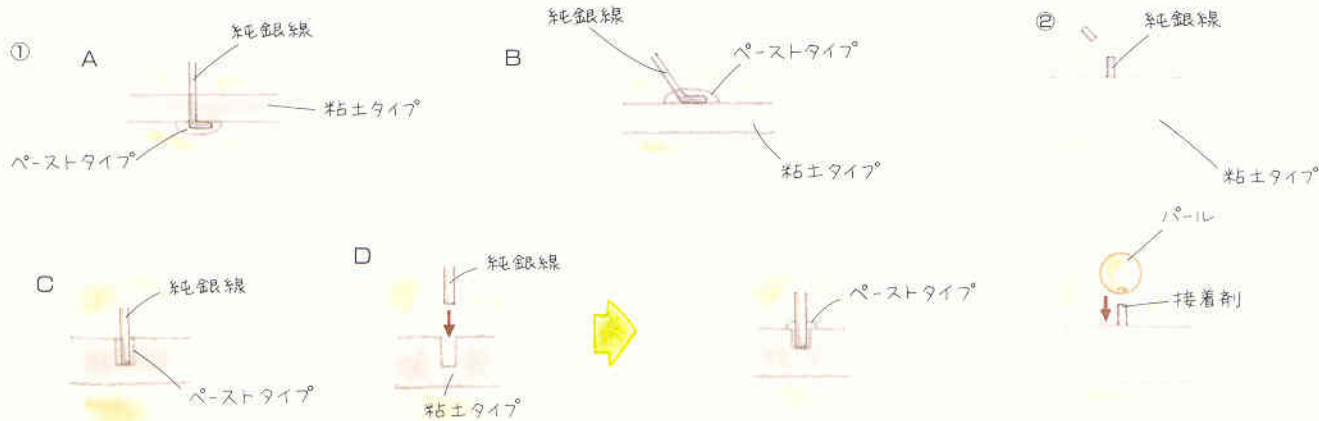
- 乾燥固化した作品にピンバイスで穴をあけて純銀線を通し、裏からペーストタイプで接着する。
- 純銀線を曲げ、乾燥固化した作品にペーストタイプで接着する。
- 乾燥固化した作品にピンバイスで穴をあけ、ペーストを多めに使い、純銀線を固定する。（純銀線を立てる部分に厚みがあり、純銀線が裏側に通らない場合）
- 粘土タイプが柔らかいうちに目安穴をあけておき、乾燥固化後ペーストタイプをつけた純銀線を目安穴に入れて接着する。

※焼成後に純銀線を取りつける場合は、油性ペーストで固定した後、再度焼成を行い接合させる。

②焼成後、立てた純銀線にパールを接着する。

- パールの穴に合わせて純銀線を切る。
- エポキシ樹脂系の強力な接着剤を純銀線につけてパールを差し、完全に硬化するまで動かさないようにする。

※接着したパールを取り外す場合は、作品を熱湯の中に入れて煮立たせ、外す。



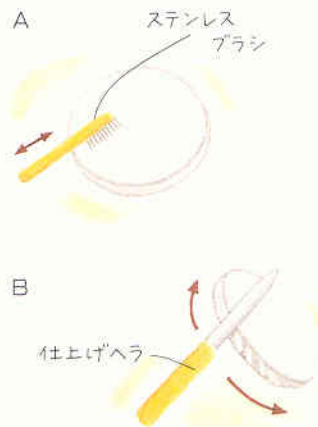
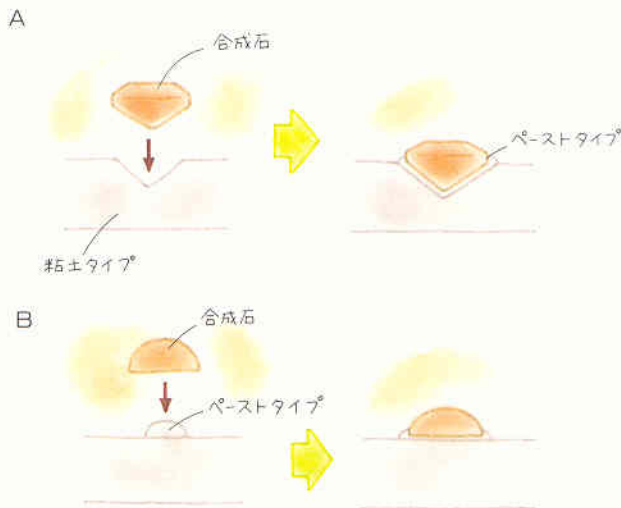
合成石を留める

乾燥固化した作品にペーストタイプで合成石を接着し、石留めをすることができる。この方法が可能な主な合成石はキュービックジルコニア、合成ルビー、合成サファイア、合成スピネルなど。※天然石は変色、破損の恐れがあるのでこの方法は使わない。

A. ラウンドカットの石は粘土タイプで柔らかいうちに石を押し当てて石座を作っておき（石は外す）、乾燥固化後にペーストタイプで石座に石を接着する。乾燥固化後の場合は、石の形状に合わせて石座を彫り出し、ペーストタイプで接着する。

B. カボションカットは乾燥固化した作品にペーストタイプで石を接着する。

※焼成後に石をつける場合は、油性ペーストで石を接着した後、再度焼成を行い石を留める。

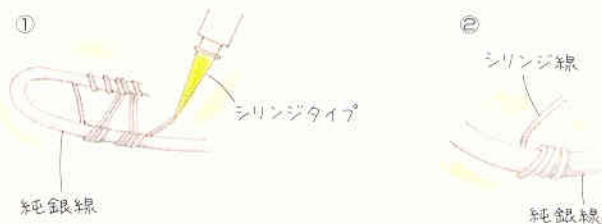


純銀線・花銀・ショット銀の使用法

純銀地金（純銀線、純銀板、純銀箔、花銀、ショット銀など）と組み合わせて焼成することで、これまでの表現方法にはなかった新しいシルバー作品の可能性が広がる。

◆純銀線にシリンジタイプを組み合わせる

- ①純銀線の形をあらかじめ作っておき、シリンジタイプで巻きつけるように線をつけていく。
- ②何重にも巻きつけ、できるだけ強度を持たせる。



◆純銀線のスパイラルパーツの作り方

- ①芯になる固い棒などを用意し、純銀線の片端をしっかりと押さえて、きつく巻きつける。
- ②芯から純銀線を抜き、好みの密度になるようにひっぱる。



◆花銀、ショット銀をテクスチャーや飾りパーツとして使う

- A, 乾燥固化した作品にペストタイプを塗り、その上に花銀を振りかける。
 - B, 乾燥固化した作品にペストタイプを盛りつけ、ショット銀をおく。
- ※焼成後に取りつける際には、花銀・ショット銀を油性ペストで固定した後、再度焼成を行い接合させる。



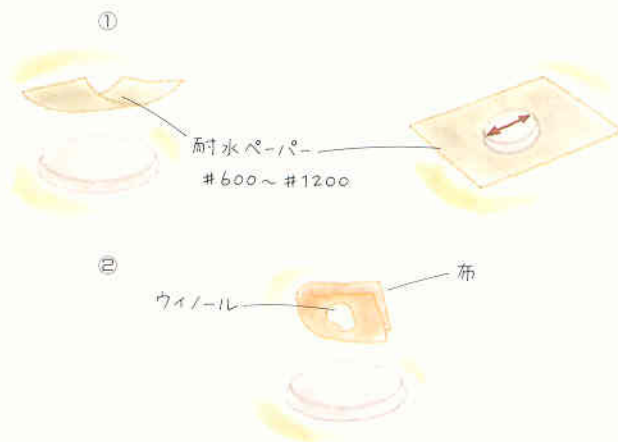
研磨

◆焼成後の仕上げ

- A, 白く焼成された作品をステンレスブラシでブラッシングし、柔らかな銀肌を出す。
 - B, 柔らかい銀肌からさらに光沢を出したい部分を仕上げヘラの側面を強く押し当ててこする。
- ※仕上げヘラをかけた部分をステンレスブラシで研磨すると光沢は失われる。

◆鏡面に仕上げる

- ①耐水ペーパー#600でヤスリがけをした後、#1200で#600のヤスリ傷が取れるまで丁寧なヤスリがけをする。
 - ②柔らかい布、またはシルバークロスにウイノールをよくしみ込ませ、作品を磨く。
- ※平らな面にヤスリがけする場合は、平らな所に耐水ペーパーをおき、作品を一定方向にスライドさせてヤスリがけをする。



仕上げ

◆いぶし仕上げ (硫化着色)

仕上げた作品を「六〇ハップ」を使用して黒くくすませて渋みをつけ、その後、研磨をして立体感を持たせたり、アンティーク風に仕上げる。

①重曹磨き

表面に油分がついているといぶし仕上げが均一にできないので、仕上げた作品を水で濡らし、重曹を振りかけて歯ブラシや指先で磨いて脱脂と研磨を行う。よくすすぎ洗いを。

②いぶす

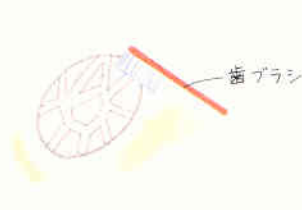
70~80℃の湯1ℓに対し「六〇ハップ」約3ccの割合で液を作り、作品を浸す。※「六〇ハップ」を加える目安は湯が淡いレモン色になる程度。約1分で銀の表面が黒くなり始めるので、ときどき上げて反応を見る。茶や赤っぽいときはまた早く、均一に青黒くなったら水で洗って反応を止める。

③仕上げ

A. シルバークロスにウィノールを少量つけて磨き、凸凹を強調した艶のある仕上げにする。

B. 水で濡らして重曹で研磨し、陰影のあるハフトーンに仕上げる。

C. 水で濡らしてスチールウール (スポンジの硬い面) で研磨し、仕上げる。

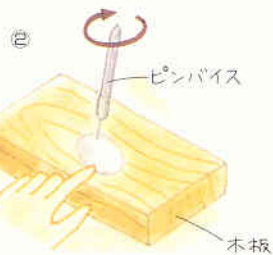
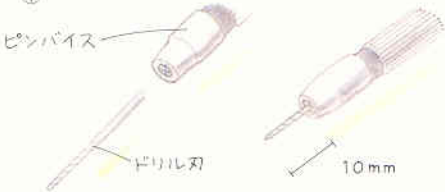


◆ピンバイスで穴をあける

①ピンバイスにドリル刃を差し込み、刃を固定する。

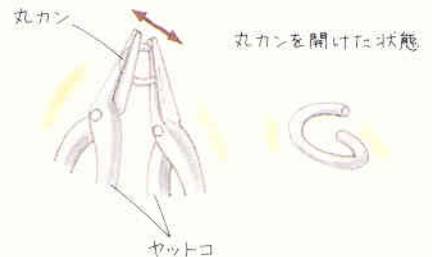
②作品を手で押さえ、ピンバイスを手回し穴をあける。

①



◆丸カンの開閉

ペンダントやイヤリングの金具の取りつけて丸カンを開け、閉じる場合はヤットコを使う。



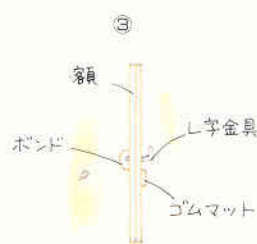
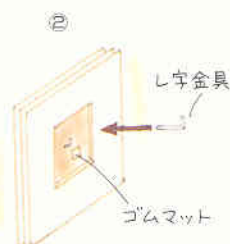
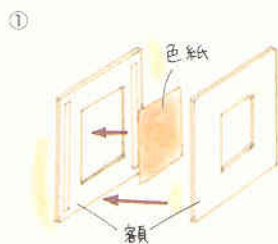
◆ブローチを額装する

①額に色紙を貼り、作品の配置を考える。

②L字金具を取りつける。額に立て掛けたときに作品が傾かないように、ゴムマットを貼り、調整する。

③裏に出た余分なL字金具はニッパーでカットし、ボンドで固定する。

④L字金具にブローチのピンを掛け、ブローチを額装する。



リング制作にあたって

アートクレイは焼成により収縮(10%未満)をおこなうので、リングは焼成後の収縮をふまえた上での制作が必要。形状により収縮率が異なるのでリングサイズで3〜5番の収縮を目安にする。

- A. リングの腕が肉厚2〜3mm程度のもはリングサイズで3番大きいサイズで制作する。
- B. 平板状で厚み2mm、幅5〜10mm程度のもは4番大きいサイズで制作する。
- C. A、Bより厚み、幅、太さなどボリュームのあるもは5番大きいサイズで制作する。



◆焼成後の腕の歪み、リングサイズの直し方

- A. 腕の歪みを修整する
芯金棒を通してリングを回しながら木槌で軽く叩き、修整する。
- B. サイズが小さい場合
芯金棒を通してリングを回しながら木槌で軽く叩き、少しずつサイズを大きくする。叩き過ぎて切れてしまったときは、「サイズが大きい場合」を参照。
- C. サイズが大きい場合
①リングの腕の下部を糸ノコで切り、短くする。
②芯金棒を通して軽く木槌で叩き、切った部分の合わせ目をそろえて形を整える。合わせ目にペーストタイプを多めに盛りつけ、乾燥後に焼成する。
③焼成後、細目ヤスリで形を修整し、仕上げをする。



口ウ付け

焼成品は多孔質(ポーラス)のためロウを吸い込みやすいですが、通常のように可能です。

芳香アクセサリ

焼成品は純銀の粉末同士がくっつき合っているので、その粒子と粒子の間にすき間があります。これをポーラス状と言います。この特徴を利用し、作品に香水を1〜2滴しみ込ませて芳香アクセサリとして楽しむことができます。また、ポーラス状の特徴としてはキャスト品やプレス品と比べて同じ大きさのものを軽く制作できるという点があげられます。

材料・用具・パーツの紹介

アートクレイシルバーの販売価格表

品名	数量	価格	備考
アートクレイシルバー	20g	2,900円	
〃	50g	7,000円	

ペーストタイプ	20g	2,600円	
〃	50g	6,700円	
油性ペースト	10g	2,500円	専用薄め液付属

シリンジタイプAセット	10g	2,100円	ノズル1本付属
〃 Bセット	10g	2,700円	ノズル4本付属
〃 本体	10g	1,850円	

※スタンダードタイプと、より柔らかい模様表現に適したソフトタイプがあります。

ノズル 各種	1本	250円	全4タイプ
練習用シリンジ	1本	300円	真鍮粘土
練習用シリンジ	1本	550円	真鍮粘土ノズル1本付属

シートタイプ	10g	1,850円	35×60×0.8mm
--------	-----	--------	-------------

アクセサリキット		3,000円	ペンダント制作キット
----------	--	--------	------------

アートクレイゴールド /K22	10g	29,000円	アートクレイのゴールドタイプ。焼成後は22金になります。
--------------------	-----	---------	------------------------------

※金地金相場の変動により、価格は変わる場合があります。

焼成用具販売価格表

品名	価格	備考
電気炉スーパーブチ	58,000円	4面ヒーター 炉内寸法85×60×120mm
電気炉GT-3S	159,000円	3面ヒーター 炉内寸法160×85×220mm
電気炉GT-P2S	196,000円	3面ヒーター 炉内寸法200×130×240mm
アートBOX No.1	9,000円	
カオウルボード	600円	100×150mm
〃	1,000円	150×225mm
カオウルブランケット	240円	100×150mm
〃	440円	150×225mm
ファイバーペーパー	1,000円	5枚セット 150×150mm

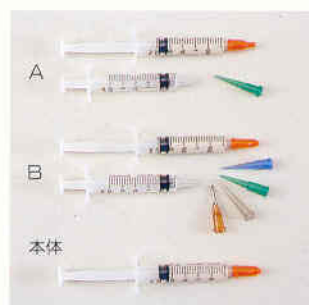
※表示価格は1997年1月現在のもの。上記の価格に消費税は含まれていません。



アートクレイシルバー



ペーストタイプ



シリンジタイプ



ノズル各種



練習用シリンジ



シートタイプ



アクセサリキット



アートクレイゴールド/K22



道具セットA 価格6,000円 18品目

下敷き、カッター、クッキングシート、ローラー、厚紙2枚(1mm厚)、筆(平)・(細)、プラスチックケース、ヤスリ(中目)・(細目)、ステンレスブラシ(毛足短)、仕上げヘラ(小)、ピンセット、水差し、耐水ペーパー(#600)・(#1200)、ウィノール、シルバークロス



道具セットB 価格15,420円 21品目

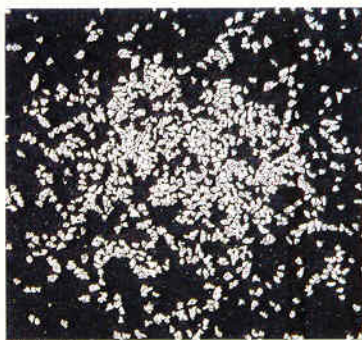
サララップ、粘土ヘラ、木製カンナ、ステンレスブラシ(毛足長)、ステンレス網、ヤットコ、サイズ入り芯金棒、木芯棒、木鋌、ピンバイス、ドリル刃(1.3mm)、六一〇ハップ(500ml)、重曹(500g)、ゴム台、中子粘土、ライトクレイ(油土)、ボンド(エポキシ樹脂系接着剤)、デシコン(シリコーン型取り剤)、額セット、彫刻刀、ゴム版

道具セットC 価格21,420円 39品目(Aセット+Bセット)

*上記の価格には消費税は含まれていません。



花銀(細目)



花銀(中目)



花銀(荒目)



ショット銀

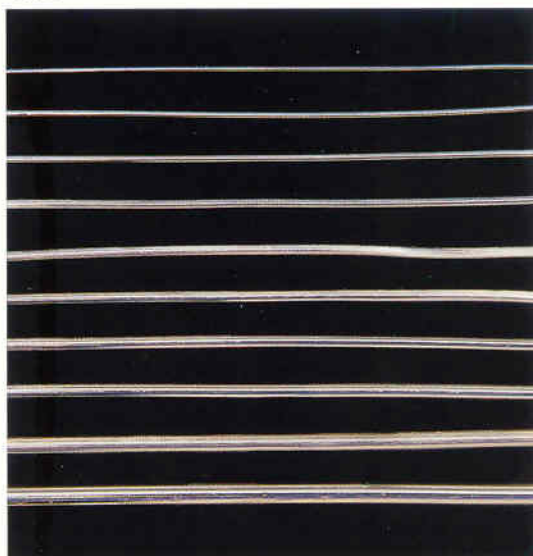
花銀(純銀)

品番	品名
H-1	花銀 細目(0.18~0.5mm)
H-2	〃 中目(0.5~1mm)
H-3	〃 荒目(1mm以上)
H-4	ショット銀(笹吹き)

5gと10gがあります。

(純銀線、花銀、ショット銀の写真はほぼ実物大)

純銀線



純銀線

品番	サイズ	20cm	50cm	1m
J-1	0.6mm		○	○
J-2	0.8mm		○	○
J-3	1.0mm		○	○
J-4	1.2mm		○	○
J-5	1.4mm		○	○
J-6	1.6mm		○	○
J-7	1.8mm		○	○
J-8	2.0mm	○	○	○
J-9	2.5mm	○	○	○
J-10	3.0mm	○	○	○

SV925金具

品番	品名
K-1a	丸カン 小0.7Φ(10個入り)
K-2a	丸カン 中0.8Φ(10個入り)
K-3a	丸カン 大1.0Φ(10個入り)
K-4a	丸カン 特大1.10Φ(10個入り)
K-5a	〇カン (5個入り)
K-5b	〇カン (10個入り)
K-6a	差し丸カン 純銀製 (10個入り)
K-7a	ダルマカン 純銀製 (10個入り)
K-8	コケシ型プレート
K-9	ナス型プレート
K-10	引き輪 小5.5mm
K-11	引き輪 中6mm
K-12	引き輪 大7mm
K-13	バチカン
K-14	合わせバチカン 小
K-15	合わせバチカン 大
K-16	裏付けバチカン 純銀製
K-17	ワイヤーピアス 1組
K-18	ボールピアス 1組
K-19	イヤリング(スクリップ) 1組
K-20	イヤリング 1組
K-21	ボールリング(#5、7、9、11、13、15)
K-22	アートクレイ専用オリジナルブローチ金具 1組
K-23	SVツキサシ1 (0.8mm)
K-24	SVツキサシ2 (0.8mm)

SV925金具セット

品番	品名	内容
KS-31	差し丸カン・合わせバチカン小セット	差し丸カン、合わせバチカン 小
KS-32	差し丸カン・合わせバチカン大セット	差し丸カン、合わせバチカン 大
KS-33	差し丸カン・ワイヤーピアスセット	差し丸カン、ワイヤーピアス
KS-34	バチカンセット	バチカン、丸カン中、丸カン小
KS-35	合わせバチカン小セット	合わせバチカン小、丸カン中、丸カン小
KS-36	合わせバチカン大セット	合わせバチカン大、丸カン中、丸カン小
KS-37	ワイヤーピアスセット	ワイヤーピアス、丸カン中、丸カン小
KS-38	ボールピアスセット	ボールピアス、丸カン中、丸カン小
KS-39	イヤリング(スクリップ)セット	イヤリング(スクリップ)、丸カン中、丸カン小
KS-40	イヤリングセット	イヤリング、丸カン中、丸カン小
KS-41	ボールリング(ケースつき)セット	ボールリング、フェルトポーチ

SVピース

品番
B-1
B-2

B-3
B-4
B-5



丸カン



〇カン



差し丸カン



ダルマカン



コケシ型プレート



ナス型プレート



引き輪



バチカン



合わせバチカン



裏付けバチカン



ツキサシ1



ツキサシ2



ワイヤーピアス



ボールピアス



イヤリング(スクリップ)



イヤリング



ボールリング



ブローチ金具



B-1



B-2



B-3



B-4

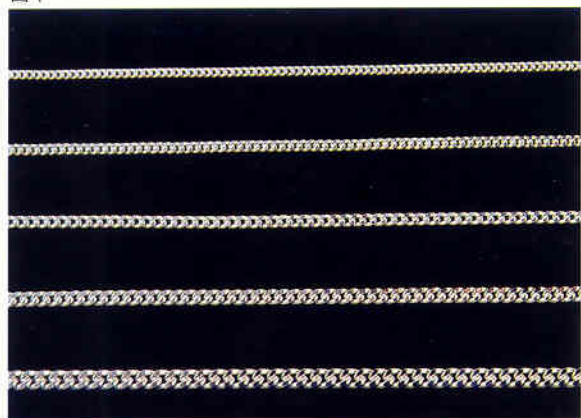


B-5

(写真はほぼ実物大)

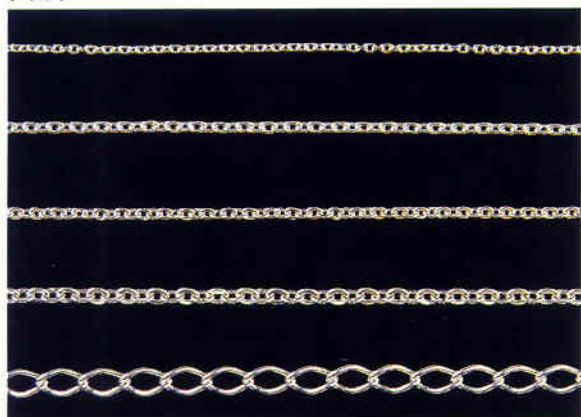
喜平

(チェーンの写真はほぼ実物大)



C-1・C-4
C-2・C-5
C-3
C-6
C-7・C-26

アズキ



C-8・C-11
C-9・C-12
C-10
C-13
C-14・C-15

ボール



C-16・C-17
C-18・C-19
C-20

ヴェネチアン



C-21
C-22
C-23

フレンチローブ



C-24・C-25



チョーカー 40cm

SV925チェーン

品番	品名	長さ	径
C-1	喜平	40cm	細(径0.35)
C-2		40cm	太(径0.50)
C-3		42cm	
C-4		50cm	細(径0.35)
C-5		50cm	太(径0.50)
C-6		52cm	
C-7		62cm	
C-26		62cm	
C-8	アズキ	40cm	細(径0.35)
C-9		40cm	太(径0.50)
C-10		42cm	
C-11		50cm	細(径0.35)
C-12		50cm	太(径0.50)
C-13		52cm	
C-14		62cm	
C-15		70cm	
C-16	ボール	40cm	細(径1.5)
C-17		50cm	(径1.5)
C-18		40cm	太(径2.0)
C-19		50cm	(径2.0)
C-20	変型ボール	40cm	(径2.0)
C-21	ヴェネチアン	50cm	小(径0.9)
C-22		50cm	中(径1.25)
C-23		50cm	大(径1.50)
C-24	フレンチローブ	40cm	
C-25		50cm	

合成石



ホワイト・ジルコン

クリソライト

グリーン・スピネル

アレキサンドライト

トパーズ

ラウンド



アクアマリン

ブルー・スピネル

ブルー・サファイア

クンツァイト

(写真はほぼ実物大)



ロゼ・ド・フランス

ピンク・ルビー

ルビー

ガーネット

天然パール 淡水パール



天然パール片穴

品番	サイズ
P-1	6~6.5mm
P-2	7~7.5mm
P-3	9mm

淡水パール片穴

品番	個数
P-4	5個入り
P-5	10個入り

※真珠についてはイミテーションと差別化をはかる為「天然パール」と表記していますが、この真珠は正式には「日本産アコヤ真珠」です。

カボッション



ブルー・スピネル

スクウェア



ブルー・スピネル

ホワイト・ジルコン



ブルー・サファイア

ブルー・サファイア

ルビー



トライアングル

ホワイト・ジルコン

合成石 ラウンド(10個入り)

品番	品名
G-22	ホワイト・ジルコン
G-23	ブルー・サファイア
G-24	ブルー・スピネル
G-25	ルビー
G-26	クリソライト
G-27	グリーン・スピネル
G-28	トパーズ
G-29	ロゼ・ド・フランス
G-30	ピンク・ルビー
G-31	ガーネット
G-32	アクアマリン
G-33	クンツァイト
G-34	アレキサンドライト

サイズは2Φ・3Φ・4Φ・5Φがあります。

材料・用具・パーツの通信販売を希望される方は、八ガキに住所・氏名・電話番号・アートクレイシルバー通販資料希望と明記の上お申し込み下さい。追って商品の価格表、注文表をお送り致します。

天然石片穴

天然石



カボッション(10個入り)

品番	品名
G-35	ブルー・サファイア
G-36	ブルー・スピネル
G-37	ルビー

サイズは3Φ・4Φ・5Φがあります。

スクウェア(10個入り)

品番	品名
G-38	ホワイト・ジルコン
G-39	ブルー・サファイア
G-40	ブルー・スピネル
G-41	ルビー

サイズは2×2mm・3×3mm・4×4mmがあります。

トライアングル(10個入り)

品番	品名
G-12	ホワイト・ジルコン

サイズは4×4×4mm。



相田化学工業株式会社

DAC 貴金属事業部

〒183-0026 東京都府中市南町6-28-3
TEL042(366)8661 FAX042(366)5861